

新年初めての
JWCU PRESS を
お送りします。
本年もよろしく
お願いいたします。

JWCU PRESS

ワーカーズコープ連合会ニュースレター
私たちワーカーズコープの「今」をお届けします。ワーカーズコープは、地域の人々などで意見を出し合い、話し合いをして、「協同の力」によって、誰もが自分らしく働き暮らせる社会を創ることを目指しています。

Vol. 3
2021.1

iw

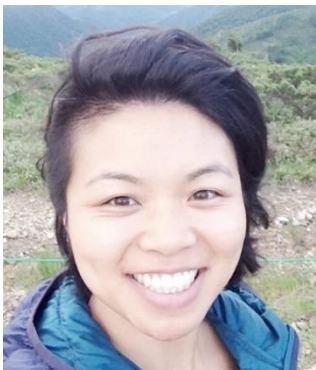


地域とつながる折り紙 ～みんなの想いを形に～

センター事業団 横浜泉地域福祉事業所こちこ (神奈川県横浜市) 業種:高齢者介護

折り紙が好きな利用者の方が、リハビリの一環で折り紙を折っていました。その折り紙がどれも素晴らしく、組合員有志が意気投合して、2013年9月に「こちこ折り紙の会」を立ち上げました。地域の方の参加も増えて、現在では2か月に一度定期的に開催しています。駅の展示スペースをお借りして、年1回横浜市営地下鉄「中田駅」「立場駅」で展示ができるようになりました。展示を見て参加してくれる方も増えて、活動がさらに活発になっています。

さらに、折り紙の本を出版されている先生とつながりができたり、保育園の卒園式で作品を活用していただいたりと、地域交流の輪が広がっています。最初はリハビリの作業でスタートした折り紙が、今や地域の架け橋となり、会の高齢者の方々もやりがいを持って取り組んでいます。直近では、2021年2月15～20日の6日間、「泉つるし飾り展」で展示を予定しています。



協同組合で民主的なジャーナリズムを実現する「アンフィルターコープ」

Emi Do (Unfiltered Co-op 設立準備事務局)

ジャーナリズムは「民主主義の番犬」と呼ばれています。3つの権力である国会、内閣、司法が権力を乱用せず人々の生活向上に奉仕しているかを監視することが役割だからです。そのためには報道の自由権と独立性は絶対に不可欠な要素ですが、権力からの圧力や企業からの資金提供への依存などで、本当に取り上げられるべき社会問題が「フィルターアウト(除外)」されてしまうことがあります。そうならないためには、報道機関自体が独立し、民主的に運営される必要があります。私を含め13人の仲間と立ち上げた労働者協同組合「アンフィルター」(※法律施行までは任意団体)は、ジャーナリストがメディアプラットフォームの所有者となり管理・運営をするため、外部の介入を恐れることなく質の高いジャーナリズムに専念できます。そして読者も組合員となることができ、協同組合への貢献だけでなく、記事の視点提供や提案も行うことができます。ご興味のある方、ぜひご入会ください!

問い合わせ先: アンフィルター (担当 エミ・ドゥ/松元ちえ)
emi.f.do@gmail.com / chie.m.matsumoto@gmail.com 090-9975-0848 (松元)



職住近接がもたらすもの

～そこに住む地域の住民として担う協同労働～
ワーカーズコープ福島地域福祉事業所（福島県福島市）

福島市に開設されるワーカーズコープの保育園を任せ、家族を説得し、東京から一緒に引っ越してきました。「生活も含めて、地域に根づく働き方をしたい」という思いからです。転校した我が子が通うことになった小学校では、近年ずっと学童の待機児が多く、地域課題が自分の事として感じられました。子育て家庭のため、自分の子供たちのために近所に学童が必要だと強く感じ、2019年に学童を開所することができました。校長先生に「〇年〇組に私の子供が通っています」と挨拶すると、一気に関係も和やかになります。「自分の住む街をよりよくしていきたい」という思いが、地域の人たちの未来と重なり、仕事おこしの大きな原動力になると感じています（所長:中山竜一）



とことん話し合って、みんなが居心地の良い、愛のある居場所を目指す
ワーカーズコープ愛知三河事業所（愛知県豊川市）

放課後等デイサービスいっぽ&にほでは、様々な世代・障がいを持つ人など、多種多様な人たちと一緒に運営しています。「会議では私が圧倒されるくらい、みんな活発に議論しています。とことん話し合うことで、お互いの想いや違い、そして個性を理解できるようになり、お互いを尊重できるようになります」と所長の櫻井早苗さんは話します。みんなで話し合って、活動の指針を「障がいのある児童や保護者にとって住みやすい地域づくりを！」「ワクワクドキドキを合言葉に、地域の困りごとに寄り添い、地域とともに『困った』を『よかった』に！」と決めました。児童や保護者そして働く仲間達、みんなが居心地の良い、愛のある居場所を目指しています。



関心がある人集まれ～！オンライン懇談会開催

誰でもワーカーズコープを立ち上げられる時代へ
一般社団法人 協同総合研究所（東京都豊島区）

ワーカーズコープの研究機関である協同総合研究所は、「協同ではたらくガイドブック-入門編-」の購入者を対象に、2020年11月28日（土）、30日（月）の2日間、オンライン懇談会を開催しました。一般の方や協同総研の会員など計10名が参加し、ガイドブック購入や懇談会参加の動機、ワーカーズコープへの興味や関心について出しました。質問もたくさん寄せられ、合意形成の仕方、業種の向き不向き、協同労働だから生み出される持続性、働く中で培われていく関係性の豊かさ、サポート体制と多岐に渡りました。その後、参加者の要望に合わせた現場見学や事業本部とのネットワークを作ることにつながっています。今後も継続して開催する予定です。



ガイドブックの詳細・ご購入はこちら

+ One Topic

「協同労働・よい仕事研究交流 全国集会2021」

2021年2月27日・28日に、オンラインで「協同労働・よい仕事研究交流 全国集会2021」を開催します。1日目は宮崎隆志さん（北海道大学教授）、國信綾希さん（厚生労働省社会・援護局地域福祉課）を迎えてパネルディスカッションを行います。2日目は30の分散会に分かれて、実践報告を基に協同労働について深め合います。



お申し込み

<https://sites.google.com/view/2020goodjob2020/>

